

保護者

最初は高校卒業が目標でしたが、最終的には、大学進学までできました。本人が一番頑張ってくれたとは思いますが、先生方のサポートがあってこそできたのだと思います。感謝の気持ちでいっぱいです。

保護者

自分のころは向き合いに授業していましたが、このころは向き合いもありませんでした。自信がなくなった時には、自分から先生に相談できるようになりました。

保護者

決められたルールの中で同じように生きることが求められ、周囲との関係に悩む日々でしたが、エンカレに入学後は、「こうあらねば」という固定概念の束縛から解放され、視野を広く持ち、心豊かに過ごすことができました。

保護者

単位制の学校なので、自分で授業を組み立てなければならぬこともあり、少しだけ計画性を持って行動できるようになりました。全日制とは違う固定概念とかわれない考えや方法を学べたと思います。

保護者

無理のないカリキュラムで単位を取り、自分自身と向き合い、友達との輪を広げ、自らの意志で同好会活動に参加し、様々な経験や思いを経験し、着実に成長できたと感じています。

保護者

自分一人で抱え込まず、自分で思うことを親にも話せるようになり、人間として成長できたことをとてもうれしく感じています。

保護者

動物との触れ合いもあり、のびのびと過ごせたことにより、家での口数も増え、友達もでき楽しく過ごせました。

保護者

頭だけではなく、体を動かしてみんなと協力して何かを達成するという今までできなかった経験で、多くのことを学び、成長したと思います。自分を認められるようになったのが、一番の成長ではないかと思っています。

保護者

中学の時に比べ、積極的に学校に行くようになり、同好会活動を通じ、仲間とのコミュニケーションの大切さを学び実行委員会に入ってからは、イベントごとに企画を考え、責任感を持てるようになりました。

保護者

中学時代は学校や先生に馴染めず、いつも暗い表情でした。しかし、エンカレの校風を気に入り、先輩に恵まれ、家庭内でも当日あったことを楽しそうに話すなど、目に見えて表情が明るくなっていきました。

保護者

入学時は暗かった子ども、自分の良さを見つけ、バンド活動を通し人前で表現する楽しさを知りました。修学旅行にも参加でき、安心して学校生活を送れるようになったのは先生方のご指導のおかげだと感謝しています。18歳になった今を大人になる準備段階として、前向きに生きていくわが子を誇りに思います。

保護者

これまでは、周りに流されることが多く、自分で決めることができませんでした。エンカレに転校後、環境が変わり、自分がやらなくてはならないと自覚でき、自立したことが、一番の成長です。

保護者

親子で辛い日々が続く中で、光を差し込んでくれたのがこの学校です。性格も変わり、進んで物事に取り組む姿勢になったのは、個人の良いところを最大限に引き出してくれる先生がいるからこそ。この学校が、自分の居場所となり、子供にとっての最高の数年となりました。

卒業生

1年次生の時には友人もなく寂しかったが、友人ができてから学校生活が楽しくなった。生まれてはじめて、学校生活が楽しいものになった。充実した毎日を過ごせてよかった。ありがとう。

卒業生

レポートなど、自分で計画を立てて取り組まなければならないため、自分で計画し実行する力がついた。

卒業生

怖かった人とのコミュニケーションが、TAPやグループ学習、バイトによりだんだん克服できた。自分からさまざまなことに挑戦できるようになった。

卒業生

転入して不安だったが、皆と卒業したいという目標に向けて頑張った。色々頑張っていたら、後からよいことが色々ついてきてよかった。

保護者

3年前、不安を抱えて入学式を迎えましたが、ハウスの中で居場所を見つけ、実行委員もやり遂げました。子供にとって、居場所があり、楽しく過ごせたことは、成長の糧でした。

卒業生

自分が成長するための3年間だった。行事や同好会活動にも参加し、楽しく、より深い人間関係が作れた。学ぶことがたくさんあった。

卒業生

周りに支えられて、体調が思わしくない時も乗り越えることができた。無事卒業することができた。

卒業生

自立のための3年間だった。人に頼りきりだったが、たくさんのことにチャレンジして少しずつ人と関わることの苦手を克服していった。1歩を踏み出すことの後押しをしてもらえ、実りある3年間だった。

自然の中で学ぶ森の学校

エンカレ生のあしあと

卒業生・保護者の声

保護者

中学校では学校に毎日行くことができてなくて、本人もとても悩んでいました。エンカレの先生方は、子供との距離が近くて、いろいろな話をしたり、聞いてくれたりするので子供にとっては励みになったと思います。

卒業生

人と交流することで、人前に出ることができるようになり、充実した高校生活が送れた。

卒業生

ずっと学校と教員が嫌いだったが、エンカレに来て変わった。生徒の話をしっかりと聞いてくれて、相談にも乗ってもらえて、今までとは違っていた。学校生活も友達と楽しく送って、大学進学もあきらめていたが行けることになり、エンカレに来てよかったと本当に思う。

卒業生

これからの生活に役立つ高校生活だった。先生たちのおかげで卒業でき、本当に感謝している。

卒業生

長いようで、あっという間の3年間だった。勉強にも取り組みやすく、資格の勉強もできてよかった。

卒業生

1年次には1人で過ごしていたが、2年次で勇気を出して声をかけたことがきっかけとなり、今では、たくさんの友人ができた。修学旅行では、話せる友人が参加していなかったが、声をかけてもらってどんどん交友関係が広がった。ここで学んだ知らない人に声をかける勇気を忘れず頑張っていきたい。

卒業生

最初はめんどろで休みがちだったが、今となっては、休んでいた時間ももったいなかったなと思う。これからは、物事に積極的に取り組んで行こうと思う。

卒業生

沢登りは、想像以上に川が冷たくて、泳ぐのも苦手だし、途中でのリタイヤになるかなと思ったけれど、自然を楽しみながらできました。触ったこともない楽器での即興演奏、将来を見据えた講演会など、思い出が尽きない3年間でした。

卒業生

エンカレは成長の場だと思ふ。新しいチャレンジをしたり、自分でいろいろなことを決めることで、自分のことがわかるようになり、進むことができた。

卒業生

楽しく過ごせた。先生方には相談に乗ってもらえ、温かく受け入れてもらえてとても感謝している。良い思い出ばかり。ありがとうございました。

